

中国人研修生の受入事業 第4期生スタート

ACTIVE KUMIAI



4期生に激励の言葉述べる
川手理事長

山梨県アパレル工業組合川手正紀理事長は、平成16年から実施している「外国人研修生共同受入事業」の第4期生の受け入れをスタートさせた。第4期生となる今回は、中国江蘇省南通市からの研修生16名が来日、組合企業6社が受け入れ企業となり研修を行うこととなる。

今回、11月6日に中小企業団体中央会研修室で行われた開講式では、研修生16名の自己紹介が行われ、これからスタートする日本での研修生活に対して、それぞれ研修生16名はしっかりとした日本語で自己紹介を行い、また、研修生を代表して呉小姉さんが、一日も早く日本の縫製技術を学び頑張りたい」と抱負を語った。

開講式後には、(財)国際研修協力機構の岡本浩忠氏から受け入れ企業に対しての注意事項や研修生を巡る諸問題などの説明会も行われ、1ヶ月に渡って行われる座学研修をスタートさせた。

研修生は日常生活や技術研修に必要な日本語会話の習得を中心に、日本の生活慣習、健康管理、日本の法律や安全などを集合研修で学んだ後、組合員企業で縫製技術の習得を行い、来年11月の技能検定合格後は2年間の技能実習生として就労することとなっている。

翌日、11月7日には中央会からも金丸事務局長が講師を行い、第1部では「日本の経済状況と中小企業について」、第2部では「異文化コミュニケーション」をテーマに、中国と日本の文化の違いについて研修生との質疑応答・対話形式で行い、終始和やかな雰囲気となった。

なお、今回4期生を迎える前の10月26日には平成16年11月から受け入れを行っていた第1期生の修了式が行われた。川手理事長より研修生4名に修了書が手渡され、「日本で学んだ縫製技術やたくさんの楽しい思い出とともに、中国へ帰っても頑張ってください」と激励の言葉がかけられた。



研修生の皆さん